

休日出勤解消、年休完全付与に向け、要員を張り付けられるようしっかり努力すること！

「平成23年度要員計画」業務委員会開催

本部は4月8日、平成23年度要員計画について業務委員会を開催しました。

平成23年度初の社員数21,550人（専任社員含む、出向受け社員含まず）、基準人員16,000人、採用実績1,028人、専任社員数1,876人（うち出向1,191人）などと明らかにしました。また、乗務員養成計画については、在来線運転士約150人、新幹線運転士130人、在来線車掌約190人、新幹線車掌約140人とし、乗務員からの駅異動については、約85人の計画数を明らかにしました。

システム化・省力化施策では、社員研修センター統合に伴う体制の見直し（管理部門の統合効果）で△3の要員計画を示しました。

主な議論は以下の通りです。

それでも休日出勤は一人2～3泊程度 いつになったら解消するのか？

組合：基準人員が22年度初より100人増えているのは何故か。

会社：その他の部門で増えた。リニア実験線関係、健康管理センターを強化したことなどによる。

組合：22年度初の採用実績より5人多いが何故か

会社：22年度内に医療関係の社員を採用したことによる。

組合：運輸系統では基準人員より社員数が300人多い。22年度初は+200人であった。それだけ乗務員養成したということか。休日出勤に対応したということか。

会社：乗務員数が厳しいことは認識している。養成数を増やしてきた。「一本」になっていけばその分乗務員が増えていく。

組合：22年度休日出勤数を明らかにすること。

会社：新幹線乗務員で一人3泊程度と予想した。2月末実績で一人3泊弱であ

った。

組合：23年度はどのように予想しているのか明らかにすること。

会社：新幹線乗務員で一人2～3泊程度、在来線乗務員で一人1～2泊程度と予想している。ただし、列車本数により増減はあり得る。

組合：少なくなっているが解消されてはいない。

会社：早期に解消するスタンスには変わりはない。

組合：休日出勤が始まって何年経つのか。ずっと休日出勤が続いている。要員計画を示すときに〇泊程度というのはおかしい。要員を責任を持って配置していないということだ。

会社：休日勤務予想数を問われたから示しているだけである。早期解消に向けて最大限努力していく。採用も増やした。乗務員養成もやっていく。

組合：いつ解消するのか、目標を立てて努力するべきだ。6年前と同じ回答だ。

会社：当該年度を示すのが精一杯だ。

駅異動は拡大基調

組合：22年度まで、乗務員から駅異動数は拡大してきたが、23年度は85名で昨年度より5人少ないが何故か。

会社：減少というより「横ばい」と認識している。基調は拡大である。今後も増やしていきたい。なるべく早く駅・車掌・運転士の3職種を経験してもらいたい。

組合：22年度に乗務員区所の戻った数を明らかにすること。

会社：約20人である。他に指令員になった社員、駅管理者になった社員もいる。

希望者は全員専任社員として採用すること！

組合：22年度で専任社員を希望して採用されなかった数を明らかにすること

会社：ごくわずかである。

組合：その人数を明らかにすること。

会社：ごくわずかである。

組合：人数を明らかにしないことを確認する。専任社員になれなかった方も休日出勤解消の貴重な戦力である。希望者は全員採用すること。

会社：この場では議論しない。

組合：系統別に専任社員数を明らかにすること。

会社：駅が約100人、運輸が100人弱、車両が100人強、施設電気で約50人ずつである。

交番検査はみんなで働いてみんなで休むのが基本だ！

- 組合：東京と大阪の交番検査車両所にSEK（協力会社）からの出向受け社員がいる。出向を受けている理由は何か。
- 会社：今ここではよく分からないが、一般的に言えば当社にはないノウハウを持っている方にきてもらうということはある。お互いの業務の実態を把握してもらい、より一体感を持って仕事ができるように、ということではないか。
- 組合：出向受け社員は社員数に入っているのか。また、出向受けは拡大していくのか
- 会社：出向受け社員は社員数には含まれていない。また、要員需給で増やしたり減らしたりということはない。
- 組合：23年度、交番検査車両所における特休の分散付与が7日というが、分散付与を解消するため「0.5交検」をどこかに増やすことを考えてないのか。
- 会社：考えていない。1日9本交番検査を行うとなると分散付与7日となる。
- 組合：交番検査はみんなで働いてみんなで休むのが基本だ。このことは主張しておく。

駅の訓練・勉強会参加を休日に指定するな！

- 組合：駅の訓練や勉強会に休日出勤で参加することがある。駅に要員を張り付けて休日に参加することがないようにすること。月2回も休日に訓練に出てくることもある。
- 会社：出面で仕事をしている職場では、全員揃って訓練するというは無理がある。いたずらにやっているわけではない。訓練日に幅を持たせるなど努力している。
- 組合：休日は次の仕事のためにしっかり休むのが基本である。休日の訓練・勉強会参加は解消すること。
- 組合：休日出勤解消、年休完全付与に向け、要員を張り付けられるようしっかり努力すること！
- 会社：見解は申し述べたとおりである。

以 上